

日本語研修コース報告 (2016年4月～2017年3月)

田中 信之

1 はじめに

大学院入学前予備教育日本語研修コースは、主として、文部科学省によって配置される大使館推薦国費研究留学生および教員研修留学生を対象とした日本語集中コースで、毎年4月と10月に開講し、各期15週間75日のコースを提供している。1999年10月に富山大学国際交流センターの前身である留学生センターが開設され、第1期日本語研修コースが開講した。2013年10月に留学生センターが改組、国際交流センターが設置され、2016年3月には第33期生を送り出した。

2 2016年度前期富山大学への学生配置について

文部科学省から本学へ1人(ベトナム人)の配置照会があったが、受入教員が他大学に転出したため、学生配置がなくなった。

3 学内公募の実施

富山大学に配置される国費研究留学生・教員研修留学生の数は少なく、受講定員に余裕があるため、2000年10月開講の第3期日本語研修コースからは、学内公募を実施して、大学推薦国費研究留学生や私費研究生等も受け入れている。2016年4月開講の日本語コースも従来どおり、学内公募を実施したが、受講申し込みがなかった。そのため、日本語研修コースは開講しないこととなった。

4 2016年度前期日本語研修コース専用科目の対応について

これまで日本語研修コースは、日本語課外補講との合同授業を行ってきた。そのため、合同授業はそのまま日本語課外補講の授業として開講されるが、日本語研修コース専用の科目は別途対応する必要があった。そこで、文法A1(田中担当)2コマは、文法A1(火曜3限)と漢字A1(木曜3限)として開講した。コンピュータB1(濱田担当)1コマは漢字B1(水曜1限)として開講した。それ以外の日本語研修コース専用の科目は不開講とした。

5 2016年度後期日本語研修コースの開講要件について

2016年度前期の学生配置の状況から、平成28年度第4回国際交流センター教員会議(2016年7月25日(月)開催)において、文部省からの大使館推薦国費研究留学生および教員研修留学生の配置がない場合、日本語研修コースを開講しないこと、日本語研修コース専用クラス(特別指導を除く)はすべて日本語課外補講の授業として開講すること、を決定した。

6 2016年度後期富山大学への学生配置について

文部科学省からの大使館推薦国費研究留学生および教員研修留学生の配置がなかった。

7 おわりに

大学院入学前予備教育・日本語研修コースは、これまでに文部科学省からの配置学生、学内措置による受講者を合わせて205人がこのコースを修了している。しかしながら、今年度は学生配置が一人もなかった。このような状況の下、今後も学生配置がないことが予想されるため、日本語研修コースは、国際交流センターの他の日本語プログラムとも連携をとりながら、より効率化を図っていかなければならない。